

令和6年度

第3回 帯広市地域公共交通活性化協議会 次第

令和7年3月28日

1 議事

(1) 報告事項

- 報告第1号 路線網再編分科会の協議状況について
- 報告第2号 帯広市内における自動運転実証事業について
- 報告第3号 令和7年2月の大雪への対応について

(2) 協議事項

- 議案第1号 「おおぞライナー」の運行終了について

(3) その他

- ・令和6年度地域公共交通共創モデル実証プロジェクトの実施状況について

《配付資料》

- 資料1 出席者名簿
- 資料2 令和6年度帯広市公共交通活性化協議会路線網再編分科会議事概要
- 資料3 自動運転社会実装推進事業最終報告書（公開版）
- 資料4 バス路線確保のための連絡会議議事概要
- 資料5 おおぞライナーの運行終了（廃止）について
- 資料6 夜のコミタク・部活コミタク実績報告（TKタクシー）
- 資料7 モビリティハブと人流・物流サービスの連携・協働モデル構築（十勝バス）
- 資料8 地域交通業界のルーキー育成事業（交通環境まちづくりセンター）

令和6年度第3回帯広市地域公共交通活性化協議会 出席者一覧

資料1

	職 名	氏 名	備考
北海道大学大学院 工学研究院	教授	岸 邦宏	アドバイザー 欠席
十勝バス株式会社	取締役執行役員 事業本部長	長沢 敏彦	吉田部長 代理出席
北海道拓殖バス株式会社	業務部長	小森 明仁	
大正交通株式会社	代表取締役	道見 誠一	
毎日交通株式会社	専務取締役	千葉 和也	
北海道旅客鉄道株式会社 釧路支社 帯広駅	駅長	尾形 純	欠席
十勝地区バス協会	事務局長	寺山 康浩	
十勝地区ハイヤー協会	専務理事	塚本 俊二	
帯広市町内会連合会(住民代表)	欠員につき調整中		
北海道運輸局 帯広運輸支局	首席運輸 企画専門官	徳田 陽介	
北海道地方交通運輸産業労働組合協議会 十勝地区交通運輸産業労働組合協議会	議長	皆川 義則	
十勝地区バス労働組合連絡会	代表	久保 真司	越智副代表 代理出席
川西地区町内会連絡協議会	会長	平山 明	
大正地区町内会連絡協議会	会長	渡 智雄	欠席
北海道 十勝総合振興局 地域創生部 地域政策課	課長	石山 大介	監査
北海道開発局 帯広開発建設部 道路計画課	課長	小林 悟	
北海道 十勝総合振興局 帯広建設管理部 地域調整課	課長	佐々木 昇	Web出席
帯広警察署 交通第一課	課長	堺 玄州	欠席
帯広市 都市環境部	部長	篠原 祥一	会長
帯広市 経済部観光交流室観光交流課	課長	阿部 恭子	
帯広市 学校教育部教育総務室企画総務課	課長	高橋 肇	
帯広市 市民福祉部地域福祉室地域福祉課	課長	齋藤 周平	藤本補佐 代理出席
帯広市 市民福祉部福祉支援室介護高齢福祉課	課長	佐藤 克己	野原主幹 代理出席
帯広市 経済部商業労働室商業労働課	課長	高木 克康	
帯広市 都市環境部環境室環境課	課長	西島 新一	
北海道運輸局 自動車技術安全部 技術課	技術課長	鬼頭 和博	オブザーバー Web出席
北海道運輸局 自動車技術安全部 技術課	専門官	谷原 陽介	オブザーバー Web出席
北海道経済産業局 地域経済部 製造・情報産業課	参事官	丹羽 朋子	オブザーバー web出席
北海道経済産業局 地域経済部 製造・情報産業課	係員	野島 滉太	オブザーバー web出席
北海道警察 釧路方面本部 交通課	課長補佐	村上 学	オブザーバー web出席
BOLDLY株式会社 市場創生部 企画課		梶尾 龍之介	オブザーバー web出席

令和 6 年度 帯広市公共交通活性化協議会

路線網再編分科会 議事概要

【第 1 回会議】

日 時：令和 6 年 12 月 25 日（水）14:00～16:00

場 所：帯広市役所 10 階第 4 会議室

出席者：川角分科会長、長沢分科会員（鈴木次長随行）、小森分科会員（熊崎課長随行）、徳田分科会員（成田氏随行）、石山分科会員（中田係長代理出席）

（説明員）日本データサービス株式会社 調査計画部 東元部長、源野次長

主な協議事項：

< 乗り継ぎ拠点による運行効率化について（案） >

北海道が令和 4 年度に実施した帯広圏パーソントリップ調査をもとに、帯広駅バスターミナルのほかに、ニッテンスズランプラザ等を乗り継ぎ拠点とするとともに、弥生新道を行く南北をつなぐ路線を新設し、商業施設へのアクセス時間の短縮や運行効率化を目指す路線案を、パーソントリップ調査を実施した調査会社から議論のたたき台として提案。

○案に対するバス事業者の意見

- ・運転手不足は深刻で、これまでどおり直通を前提とした路線には限界があると感じており、将来的にこのような再編の必要性を感じている。
- ・一方で、乗り換えにより利用者離れや短期的な収入減が懸念される。
- ・また、乗継拠点をつくるにあたり、土地取得など多額の費用が見込まれる。
- ・乗継拠点について、バスターミナルのような施設は必要ないが、雨天時や冬季でも安心してバスを待つことのできる環境が必要。
- ・帯広駅バスターミナル周辺にバス待機場所を設けることでも、回送を減らすことなどに繋がり、運行の効率化を図ることが可能である。

○次回に向けて

今回の路線再編案については、バス事業者が実施することは難しい。一方で、帯広駅バスターミナル周辺にバス待機場を設けることで運行の効率化につながる可能性があるという意見を踏まえて、次回の分科会では待機場を設けた場合の路線案について協議を行う。

【第2回会議】

日 時：令和7年3月25日（火）13:30～15:00

場 所：帯広市役所10階第6会議室

出席者：川角分科会長（中田課長代理出席）、長沢分科会員（吉田部長・天野係長随
行）、小森分科会員（中村課長随行）、徳田分科会員（成田運輸企画専門官代
理出席）、石山分科会員（千葉係長・前川主事随行）

（説明員）日本データサービス株式会社調査計画部 東元部長、高田主任技師

主な協議事項：

①＜帯広駅バスターミナル付近への待機場所設置による路線再編案について（案）＞

第1回分科会に引き続き、調査会社から、バスターミナル付近に待機場所を設置すること
で、帯広駅を経由する長大路線を分割し、帯広駅を起点として東西南北に循環線を新設す
る路線について、たたき台として提案があった。

○案に対するバス事業者の意見

- ・路線がシンプルになっており、利用者にとってわかりやすい。
- ・路線を分割し、おびくるを起終点とすることで運行の効率化に結び付く。
- ・乗り継ぎは利用者にとってハードルとなるが、将来的に必要なため慣れてもらう必要がある。
- ・一方で、乗り継ぐ時間帯や乗り継ぎ割引などが課題。
- ・また、待機場所の設置には相当の規模の面積が必要であり、その調達が課題。

○次回に向けて

新設路線は、利用者にとって分かりやすく利用しやすい路線となる可能性があることか
ら、バスの利用データを活用し、更に検討を進めることとした。また、運行距離や総運転時
間を短縮し、運転手不足対策となることを確認した。

交通結節点を検討する上で、バス利用者の多い箇所が交通結節点として選定することが
望ましいが、現状、正確なバス利用者数の把握が難しい。十勝バスの運賃箱更新により、バ
スの利用データを得ることができるようになるため、その情報から検討することとした。

②＜北海道拓殖バス南商線のイオン経由とする路線変更について＞

北海道拓殖バスより、南商線をイオン経由に路線変更することにより、利便性の向上を見
込めるため提案があったもの。

○案に対する意見

- ・路線変更した場合、重複する十勝バスの国庫補助に影響する可能性がある。

○次回に向けて

拓殖バスの南商線がイオン経由となった場合、国庫補助などにどのような影響が見込まれるか、各事業者は次回までにシミュレーションを行うこととした。

自動運転社会実装推進事業 最終報告書(公開版)

【事業背景・目的】

本市は、公共交通の運転手不足（60歳以上のバス運転手が全体の4割、タクシー運転手は6割を占めており、今後、更にドライバー不足が進行する見込みである。）によって、路線バスの減便やタクシーの待ち時間増加等が発生しており、公共交通のサービスレベルが低下している。自動運転バスを導入することで、持続可能な公共交通の体制構築を目指す。

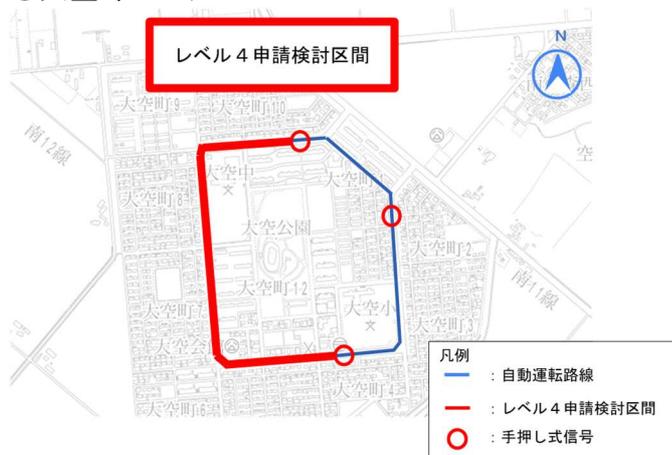
【事業内容】

1. 運行場所				
場所	北海道帯広市			
走行距離	①大空町ルート片道約2.1km（一般運行実施） ②市街地ルート片道約7.2km （ルート設定、準備運行実施、大雪により一般運行中止）			
運行速度	最大20Km/h未満			
走行時間	①大空ルート:1周15分			
2. 運行期間・運行時間帯/頻度・運行形式				
運行内容	運行期間・運行日数			
準備運行	2024年12月～2025年2月 計80日間			
関係者試乗運行	大雪の影響により中止			
一般運行等	2025年2月26日～2月28日			
その他運行				
3. 運行車両				
項目	内容			
台数	2			
所有	リース 所有者:リース会社			
車両 スペック	車両名	MiCa (Auve Tech社)		
	自動運転レベル	2		
	乗車定員	8人(うち1席はオペレーターが使用)		
	試乗枠の定員	8人		
	最高速度	車両機能上限:25 Km/h 実証実験時上限:20 Km/h		
	センシングデバイス	LiDAR:7個		
	その他装備	エアコン、ヒーター、スピーカー、ホーン、車椅子用 スロープ(手動)		
走行可能環境	天候	暴風雨や吹雪を除く全天候		
	照度	特になし		
保有機能	自車操作	左折	走行可否	可
		右折	走行可否	可
		車線変更	走行可否	可(安全性を考慮し、当面は事前のオペレーター承認が必要)
		障害物回避	対応可否	可(事前の設定範囲を超えた回避を行う場合(中央線を越えた回避等)、当面は事前のオペレーター承認が必要)
	対象認識	可		
	白線認識	不可(白線に応じた走行ルートの設定を行う)		

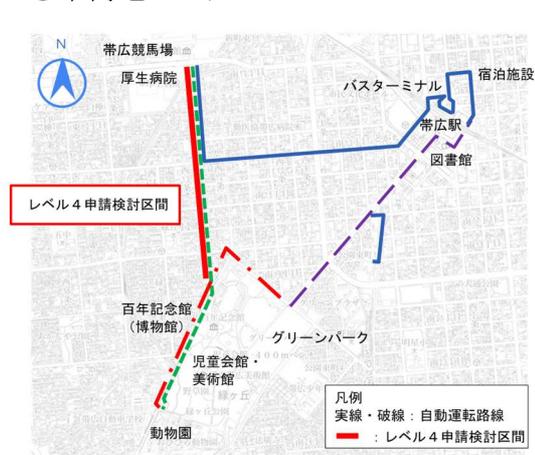
【検証項目・検証方法】

項目	検証項目	検証方法
経営面	・運賃収入の設定	アンケート
	・広告スポンサー ・協賛金 ・視察ツアー ・イベント ・車内販売	企画内容を検討したか確認
技術面	・自動運転割合	遠隔監視システム Dispatcher からデータを抽出
社会受容性面	・利用者数を集計	オペレーターがカウント
	・利用者や住民の満足度/理解度	アンケートやヒアリングによって集計

○大空町ルート



○市街地ルート



乗車人数 1日目:60人、2日目:46人、3日目:47人 合計:153人 1便平均5.7人(定員7人)
 自動走行率 1日目:98.2%、2日目:99.0%、3日目:98.4% 平均:98.5%



自動運転車両

【検証・分析結果】

■経営面

1. 運賃設定について

今年度は、利用者の運賃支払い意向を調査するアンケートを実施予定だったが、大雪の影響により調査が十分に実施できず、検証結果を計測が困難であった。

次年度も引き続き、適正な運賃設定の検証を行い、収益化の可能性を検討しながら、持続可能な運行モデルの構築を目指す。

2. 視察ツアーについて

有償視察ツアーの企画を実施。

大雪の影響で実施期間が十分に至らなかったものの、予定企画については雪の状況を考慮の上、随時実施予定。

来年度は積雪状況を考慮、予測しつつ、自治体関係者や企業向けの新たな視察ツアーを計画し、自動運転事業への関心を高めることで、帯広市の自動運転モデルの普及と事業継続の可能性を広げる方針。

■技術面

本事業では、自動運転割合90%以上を目標として設定し、実績は98.5%と高い達成率を記録した。これは、事前の準備走行により走行環境に適した設定を行い、車両の挙動を最適化できたことが大きな要因である。

一方で、一部区間では手動介入が発生し、その主な要因として路上駐車と冬季の残雪による道幅の狭さが挙げられる。

具体的には、コンビニエンスストア前の搬送車や大空学園前の送迎車が停車していたことで、自動回避が困難となり手動操作が必要となった。

対策として、搬送車の停車時間帯を避けたタイヤ設定や、送迎車のサイズに応じた自動走行設定の調整を検討することで、さらなる自動運転率の向上を目指す。

また、冬季の降雪時には、道路幅が狭くなり、対向車とのすれ違いが難しい場面も発生した。

この課題に対しては、冬季以外の期間でレベル4認可を申請し、冬季運行時には適切な手動サポート体制を整えるなどの対応が求められる。

今後は、さらなる自動運転精度の向上を目指し、手動介入の発生要因を減らすための環境整備やシステム改善を進めることで、レベル4自動運転の早期実現につなげていく。

■社会受容性面

1. 利用者数を集計

本事業では、1日あたりの利用者数を30人以上とする目標を設定し、実績は1日平均50人となり、目標を大きく上回る結果となった。

この要因として、広報誌や新聞報道など事前の周知活動による認知度向上が挙げられる。

今後は、より多くの利用者を確保及び通年運行の実現をするため、運行時間の拡大や利便性向上施策を検討し、継続的な利用促進を図る。

2. 利用者や住民の満足度/理解度について

住民や利用者の満足度や理解度を評価するため、アンケート調査を実施予定だったが、大雪の影響で十分なデータを収集することができなかった。

昨年度の実証実験では、「自動運転をまた利用したい」と回答した利用者が90%以上となるなど、高い満足度を得ており、引き続き同様の傾向が期待される。

今後は、積雪期間を考慮しながら、住民向け説明会や体験イベントの実施、オンラインやメディアを活用した周知活動を強化し、自動運転サービスへの理解促進と社会受容性の向上を目指す。

バス路線確保のための連絡会議

議事概要

【第1回会議】

日 時：令和7年2月7日（金）10:00～11:00

場 所：帯広市役所 10 階第 6 会議室

参集範囲：国土交通省北海道開発局、国土交通省北海道運輸局帯広運輸支局、北海道十勝総合振興局、十勝バス株式会社、北海道拓殖バス株式会社、十勝地区ハイヤー協会、帯広市

報 道：なし

協議事項：

- ・雪の量が多く、全ての路線に対して同時に排雪することは難しい。
- ・優先する路線バスの利用者として、高校生と総合病院を対象とするバス路線の再開が望ましい。
- ・バス路線再開の優先順位についてバス事業者で午後会議に向けて整理する。
- ・午後（15:00）に改めて会議を設けて、除排雪箇所の優先順位のすり合わせを行う。

【第2回会議】

日 時：令和7年2月7日（金）15:00～16:00

場 所：帯広市役所 10 階第 2 会議室、WEB

参集範囲：国土交通省北海道開発局、国土交通省北海道運輸局帯広運輸支局、北海道十勝総合振興局、十勝バス株式会社、北海道拓殖バス株式会社、十勝地区ハイヤー協会、帯広市

報 道：北海道新聞、十勝毎日新聞

協議事項：

〔十勝バス〕

- ・第1優先 大空団地線（白樺通経由）。
- ・第2優先 循環線（国道より東側を除く一部迂回運行）、十勝バススクール線として学園通。
- ・第3優先 音更線などの新緑通。
- ・バス停の間口除雪を市へ要望。
- ・バスターミナルから国道へ向かうルートについても除雪の優先順位は高い。

[北海道拓殖バス]

- ・第1優先 一中・療養所線や回送ルートとして木賊原通、南商業高校線としてメガドンキホーテ付近の路線。
- ・第2優先 一中・療養所線や回送ルートとして一中前の南北の通り。
- ・第3優先 一中・療養所線、中鈴蘭線の残り部分。
- ・バス停の間口除雪は、これまで通り、自社で除雪を実施する。

[帯広市]

- ・優先順位を考慮して排雪を実施する。
- ・バス停間口はバス事業者の業務であるが、白樺通の優先度の高いバス停間口については、今回は市で除雪を実施する。

[北海道開発局]

- ・現在の排雪状況と今後の予定について報告。
- ・バスターミナルから国道の除雪について市と連携・協力する。

[十勝総合振興局]

- ・十勝総合振興局として、排雪を実施する予定。

[その他]

- ・今後、排雪の完了や運行開始についてファックスを基本として関係者へ報告する。

【第3回会議】

日 時：令和7年2月14日（金）9:15～10:00

場 所：帯広市役所10階第2会議室、WEB

参集範囲：国土交通省北海道開発局、国土交通省北海道運輸局帯広運輸支局、北海道十勝総合振興局、十勝バス株式会社、北海道拓殖バス株式会社、十勝地区ハイヤー協会、帯広市

報 道：北海道新聞、十勝毎日新聞、NHK

協議事項：

- ・現在の運休路線と路線再開に向けて除雪要望箇所を確認。
- ・次週の早い時期までに一部迂回運行も含めて、全路線の再開するように調整していくことを確認。

【第4回会議】

日 時：令和7年2月19日（水）

場 所：書面開催

参集範囲：国土交通省北海道開発局、国土交通省北海道運輸局帯広運輸支局、北海道十勝総合振興局、十勝バス株式会社、北海道拓殖バス株式会社、十勝地区ハイヤー協会、帯広市

報 道：なし

協議事項：

- ・2月19日 12時から路線バスが全線運行することを受けて、連絡会議を終了。

令和 7 年 3 月 28 日
十勝バス株式会社

おおぞライナーの運行終了（廃止）について
(令和 7 年 4 月 18 日)

1. 概要

デマンド交通『おおぞライナー』は、令和 2 年 10 月 1 日の運行開始以来、約 4 年半運行を継続してまいりました。

待合所『大空ローカルハブ』を中心とした地域コミュニティ創造への貢献や、路線バスとの乗り継ぎによる一般路線への波及、AI システムを使った予約システム・アプリの実証実験など、地域の課題解決、発展のため運行を続けてまいりましたが、AI デマンドシステムの運用やコールセンター委託など、運行にかかる経費と運送収入の採算がとれず、その改善も見込めないため、令和 7 年 4 月 18 日をもって運行を終了いたします。

2. 運行終了日

令和 7 年 4 月 18 日（金）

3. 運行終了に向けて

帯広市公共交通活性化協議会での合意を得られ次第、利用者向けの周知を始める。

- ・十勝バスホームページ、大空ローカルハブでの終了案内掲示
- ・おおぞライナー車両への終了案内掲示
- ・電話予約者に対しての運行終了のお知らせ

【別添資料】

- ・過去 3 年間の収支実績書(令和 3 年度～令和 5 年度)
- ・令和 6 年度の収支見込
- ・過去 3 か年の乗車人数実績

以上

過去の実績(4月～3月)

おおぞライナー

	年間乗車人数	営業収入(円)	営業費用(円)
令和3年度※	684	155,850	5,565,521
令和4年度	2,248	603,810	5,926,034
令和5年度	3,013	773,950	5,446,481
令和6年度※	3,299	867,425	5,474,043

※令和3年度はエリア限定(大空町内～ヨーカドー、北斗病院)・時間指定での運行。

※令和6年度については、令和6年4月～令和7年2月まで実績、令和7年3月分は見込による。

実績報告<実証期間：2024年12月12日～2025年1月31日>

資料6

TKタクシー株式会社

LINE友達追加広告
11/10~

1,718名を獲得

顧客プールの作成

告知配信



期間中
全3回の配信

配信数
3,830
開封数
2,146

利用促進

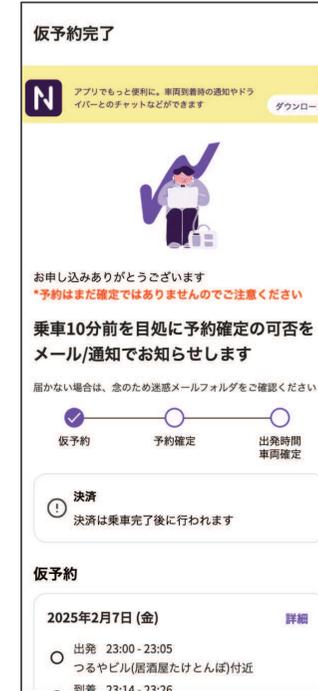
予約サイト



クリック数
76

予約ページ

予約完了



予約数
1

予約完了ページ

乗車完了

完了数
1

乗車完了

実績報告<実証期間：2024年12月12日～2025年2月10日>

十勝毎日新聞掲載開始
11/01~12/27



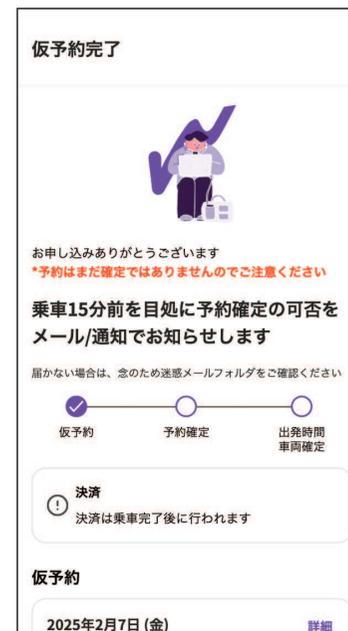
277件の
QR読み取り
利用促進

予約サイト



クリック数
58
予約ページ

予約完了



予約数
0
予約完了ページ

乗車完了

完了数
0

乗車完了

実績報告：ユーザーからの問い合わせと問い合わせに合わせたエリア拡大

 12:26 PM
こんにちは。
音更町駒場中学校に通っている子供なのですが、駒場中学校から明治十勝オーバルまでの送迎は対応外の地域なので、難しいのでしょうか？

NearMe NearMeサポート担当 04:17 PM
お問い合わせありがとうございます。
ご質問の件につきましては、一度担当部署へ確認いたします。
確認でき次第改めてご連絡いたしますので、しばらくお待ちくださいますようお願い申し上げます。
恐れ入りますが、どうぞよろしくお願いいたします。

04:47 PM
承知しました。来年度以降にと検討していただければ幸いです。返答急ぎませんのでどうぞよろしくお願いいたします。

NearMe NearMeサポート担当 11:37 PM
回答までお待たせしてしまい申し訳ございません。
ご要望の「音更町駒場中学校」につきまして、ご予約のお受付が可能とのことでした。
現時点で、ご指定いただける状態になっておりますので、ご確認いただけますと幸いです。
お客様のご予約を心よりお待ちしております。
どうぞよろしくお願いいたします。

08:30 AM
おはようございます。
ご返答ありがとうございます。
予約可能とのことでしたが、
ちなみに料金は送りのみでしたら、おいくらになりますでしょうか？

NearMe NearMeサポート担当 10:17 AM
該当経路では、最大8,050円（深夜であれば8,790円）でございました。
当サービスはシェア乗りになると割引が生じるサービス設計のため、他のお客様と相乗りになるようであれば料金は上記よりもお安くなります。
どうぞよろしくお願いいたします。

11:39 AM
ありがとうございます。
検討させていただきます。
ご丁寧ありがとうございました！

→当事業は持続可能なビジネスモデルのため要望に合わせて柔軟に対応可能

事業実施内容（大空ローカルHub 2階の活用法検討）

■ 大空ローカルHubの活用方法を考える座談会（2025/2/17（月）実施）実施内容

座談会内容

実施日時	2025年2月17日（月）
実施場所	大空ローカルHub2階
参加者	<ul style="list-style-type: none">十勝バス（大空ローカルHub運営者）担当者KPMGコンサルティング 担当者帯広市立大空学園義務教育学校 教諭



大空ローカルHub2階の様子



大空学園生徒のワークショップの様子

事業実施内容（客貨混載運行）

■ 客貨混載運行（2025/2/19（水）,20（木））実施内容（1/3）

客貨混載運行内容

<p>運行日時</p>	<p>2025年2月19日（水）,20日（木）</p>		
<p>運行経路</p>	<p>十勝バス 広尾線</p> <p>★ 客貨混載発着拠点 ● 宅配荷物等受取拠点 ← 広尾町内配達</p>	<p>運行回数</p>	<p>2往復 ※ 当初2月中に10往復を検討していたが、雪害により回数を削減</p>
<p>運行ダイヤ</p>	<p>往路</p> <ul style="list-style-type: none"> 十勝バス本社 5:25発 佐川急便 帯広営業所 5:30~6:05 (積込) 帯広駅バスターミナル 6:32発 広尾営業所前 9:08着 十勝バス 広尾営業所 9:10~9:30 (引渡・配達) <p>復路</p> <ul style="list-style-type: none"> 十勝バス 広尾営業所 16:55~17:05 (積込) 広尾営業所前 17:09発 帯広駅バスターミナル 19:50着 十勝バス本社 20:10~20:20 (配達) 		

事業実施内容（客貨混載運行）

■ 客貨混載運行（2025/2/19（水）,20（木））実施内容（2/3）

客貨混載運行内容

昨年度からの改善内容

冷凍・冷蔵荷物への対応

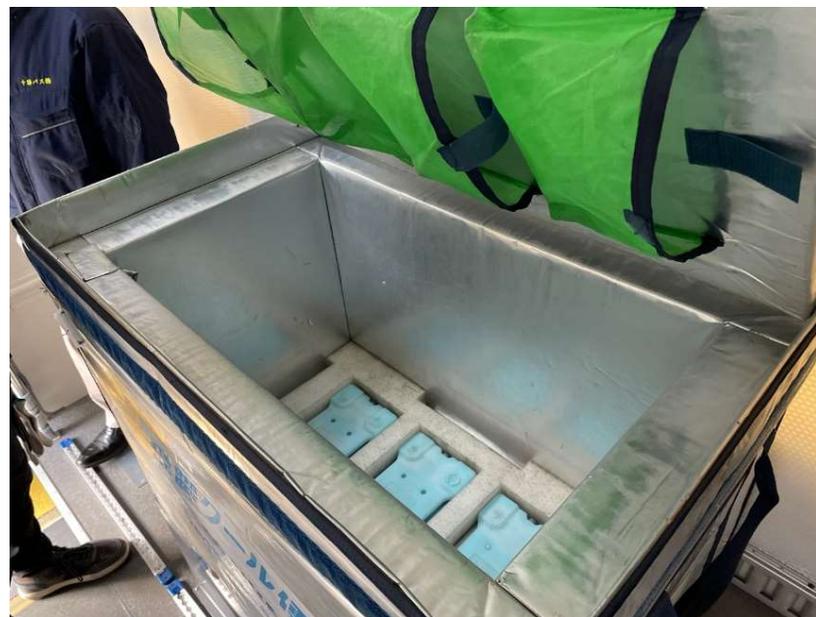
- 昨年度運搬できなかった冷凍・冷蔵荷物をバスに大型クーラーボックスを設置することにより配送可能とする。

ラストワンマイル配送のスムーズ化

- 広尾エリアに佐川急便の営業所が存在しないことから、昨年度は現地での配達トラックも広尾まで来ていた。
- 今年度は軽貨物配送業者と協業し、バスから直接配送業者への受け渡しを実施しより実運用に近づける。



冷凍・冷蔵配送に利用する大型クーラーボックス



広尾町でのラストワンマイル配送を行う軽貨物車両

事業実施内容（客貨混載運行）

■ 客貨混載運行（2025/2/19（水）,20（木））実施内容（3/3）

客貨混載運行内容

運搬貨物数

- 2月19日（水） 往路：126個 復路：0個
- 2月20日（木） 往路：130個 復路：0個



佐川急便帯広営業所でのバスへの荷物積載



客貨混載バスに積載した荷物の状況



軽貨物車両への載せ替え



プレハブへの荷物の一時置き

広尾営業所での荷物下ろし



冷凍荷物の運搬と営業所での荷物受取試験の状況



地域交通業界のルーキー育成事業 (令和6年度 共創・MaaS実証プロジェクト モビリティ人材育成事業 採択事業)

事業実施主体

- 実施主体／一般社団法人交通環境まちづくりセンター

事業目的

- 地域交通業界のルーキー人材獲得と即戦力化

事業背景

- 地域交通業界全体の人材不足
- 地域交通担当人材の意識不足・知識不足・体験不足

実施項目(1)

A. 人材確保事業(実態調査・冊子制作・イベント開催)

A1 求人活動実態調査

- ・ サイト等掲載内容から状況整理
- ・ 対象:全国50社、道外50社、道内77社

A2 自治体担当職員調査

- ・ 北海道内全179市町村の地域交通担当部署担当者を対象に業務内容等をアンケート調査
(北海道・振興局ご協力の下メール依頼・ウェブ回答)
- ・ 179市町村中118市町村(回収率:65.9%)

A3 業界訴求冊子(地域交通業界のお仕事図鑑)制作

- ・ 求職者、学生等を対象とした業界・職業紹介

A4 地域交通業界有識者インタビュー調査(作成記事:A3に収録)

A5 人材確保イベント(11/9)

- ・ バス運転体験会 & 合同就職相談会
(当センター協力体制での実施)

実施項目(2)

B. 人材育成事業(実態調査・教材制作・セミナー開催)

B1 住民意識調査

- ・ 道内8市町住民を対象に移動実態・交通サービスへの意識調査
- ・ 配布方法:ポスティング ・回収方法:WEB入力, 郵送回収
- ・ 配布3200票のうち回収847票(回収率:26.5%)

B2 バスの乗り方教室の企画・レクチャー動画制作

- ・ 撮影対象となるバスの乗り方教室・出前講座を企画開催
→ 帯広市交通環境学習、音更町コミバス乗り方教室
- ・ 動画制作:撮影した動画を活用してレクチャー動画を制作

B3 バスカルタ制作

- ・ バスの利用方法やマナーを遊びながら学べるカルタを制作
- ・ 利用促進の取組活性化を図る

B4 「北海道で地域交通を考える人のサポートブック～みちサポ～」

- ・ 地域交通の意義・取組実施方法についての教材制作(素案作成)
- ・ 想定対象:自治体交通担当職員、協議会等の委員等

B5 地域交通のキソを学ぶ合宿式セミナーinおびひろ(11/19,20)

- ・ 道内地域交通人材育成・ネットワーク構築を図るセミナー開催

今後の展開(予定)

- 自主予算等を想定し継続的に実施予定

ID	実施項目	進捗確認	今後の対応	実施予算等
A1	求人活動実態調査	調査分析完了+制作物への反映	関係者フィードバック	自主
A2	自治体担当職員調査	調査分析完了+制作物への反映	関係者フィードバック	自主
A3	業界訴求冊子制作	制作完了	周知・活用	自主
A4	インタビュー記事制作	制作完了+業界訴求冊子への反映	—	—
A5	人材確保イベント	開催済	次年度企画の検討	自主+補助活用
B1	住民意識調査	調査分析完了+制作物・セミナーへの反映	関係者フィードバック	自主
B2	レク動画制作	制作完了	周知・活用	自主
B3	バスカルタ制作	制作完了	周知・活用	自主
B4	教材制作(みちサポ)	素案制作完了	関係者意見反映	自主
B5	人材育成セミナー	開催済	次年度企画の検討	自主+補助活用